

平成 18 年 8 月 31 日

独立行政法人 労働政策研究・研修機構（JILPT）  
（理事長 小野 旭）  
担当：職務キャリア分析研究部門  
統括研究員 吉田 修 主任研究員 石井 徹  
主任研究員 松本真作  
電話：048-463-1320（ダイヤルイン） Fax 048-463-1375  
メール：s\_mat@jil.go.jp

## 総合的職業情報データベース「キャリアマトリックス」の一般公開 最大級の職業情報データベースとガイダンスシステム

### 【要 旨】

9月4日（月曜）労働政策研究・研修機構は、厚生労働省の要請により開発してきた総合的職業情報データベース「キャリアマトリックス」を、インターネットを通じて一般公開する。「キャリアマトリックス」は、世界的にみても**最大級の職業情報データベース**として、現代の**主要職業 500**について仕事内容、就業経路、統計情報、能力特性、入職要件等の詳細情報を図版とともに収録している。

また、新たに、仕事と就業者の特性を数値で表示し、自分の**興味関心などから自分に合った職業を簡易に見つけ出す自己診断テスト**や、自分の**これまでの職歴から身につけたスキルや知識を確認するナビゲーション**を装備しており、個人が直接使える「**キャリアガイダンス・システム**」として利用することができる。

キャリアマトリックスは、**インターネットによりどこでも誰でも 24 時間、無料で**利用することができ、若年・中高年の就職問題や労働市場でのミスマッチ解消への貢献が期待できる。

### 【概 要】

#### 1．開発の背景 職業情報の未整備

近年、就職をためらい、就職につまずく若年層や、団塊定年が近づく中でキャリアの転換に迷う中高年層が増大している。一方、労働市場では大量の求人求職ミスマッチの存在が見られる。これらの背景には、わが国における職業情報の未整備がある。「適職」を探し、あるいは職種転換の「可能性」を見つける上でベースとなる「職業情報」が十分でなく、労働市場においても求人・求職双方にとって共通であるべき求人職業表示（名称・職務内容・公的機関及び民間の職業分類）が未整備であることが指摘されて久しい。ちなみに欧米では、公共財として詳細な職業情報が政府により広く提供され、労働市場での効率的なマッチングやキャリアカウンセリング、企業の人材採用・活用を支えている。

#### 2．「キャリアマトリックス」の内容

##### 1) 開発の目標

**豊富で信頼できる職業情報の一大データベース**として、一般に公開され、学生・社会人など個人、企業、さらにキャリア・カウンセラーまで、手軽に利用できる情報源、ツールとなる社会インフラであること。

**若年層の適職探し、中高年の再就職、さらにキャリア開発**への効率的な情報支援とセルフガイダンスの手段を提供すること。

職業紹介、労働者派遣、学校教育、能力開発等、公的及び民間の様々な活動を支える**職業に関する基盤情報**として、インターネット及びリンクを通じて、リソースを広く提供し、労働市場における効果的なマッチングから、自己啓発、キャリアガイダンス、能力開発、人材開発までを可能にすること。

スキルや知識、職務特性、個人的要件などについて多次元の数値情報、職業情報を収集・整理し「**共通基準・共通言語**」として、自由で多角的な検索や情報利用を通じて、従来の枠を超えた柔軟かつ広範な適職や転職可能性などの探索を可能にすること。

## **2) 豊富な職業情報**

収録職業 500 職種は、労働市場における主要職種の約 9 割をカバーしている。画像・統計等を含む記述内容においては日本における最大級の職業情報であった旧労働省監修職業ハンドブック(1998 年 300 職業・A4 版 811 頁・旧日本労働研究機構刊)の約 6 倍にあたる情報量を有しており、さらに新規職業等の充実を図った。

職業情報は、以下のようなもので、常に最新のものとなるべく更新される予定である。

「**どんな職業か**」……主要な業務をもとに仕事内容を画像とともに解説

「**就くには**」……その職業に就くための要件や資格を解説

「**労働条件の特徴**」……特有の労働条件・就業状況・雇用見通しなどを解説し、賃金・就業者数・賃金データ等を図示

「**職業プロフィール**」……職業興味や価値観・必要なスキル・知識などその職業固有の特徴を数値で表示

「**参考情報**」……関連職業、資格情報を提供し、各職業の関係団体のHPやジョブジョブワールド(色々な仕事の映像が見られるサイト)とリンク

## **3) キャリアマトリックスの情報提供・ガイダンスシステム 若年層から中高年まで**

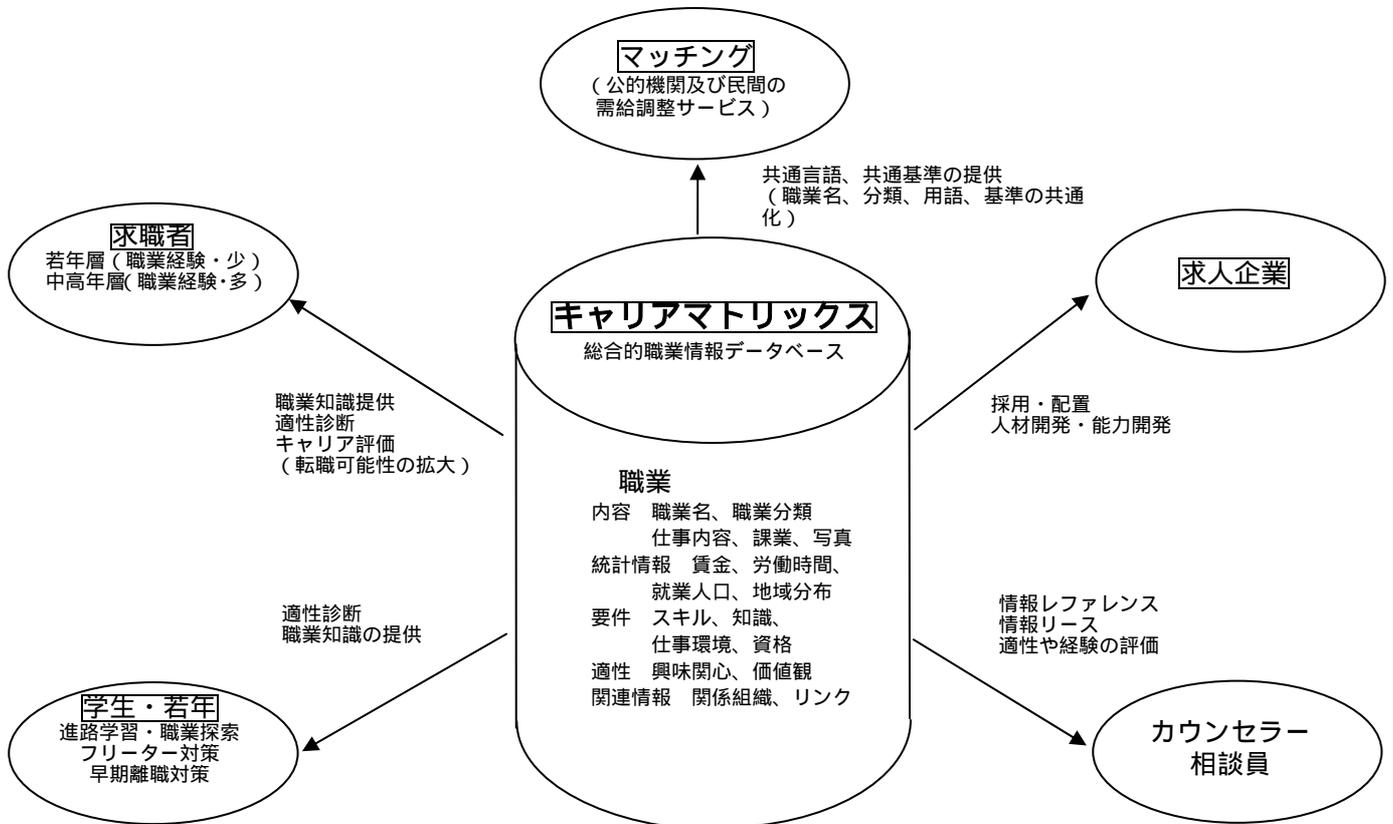
キャリアマトリックスは、豊富な職業情報を使いこなすため、次のような利用システムを備えている。

若年層向けに適職探しを支援する「適職探索ナビ」。

社会人向けに職業経験から転職可能な職業候補を見つけ出し適合度を示す「キャリア分析ナビ」。仕事のイメージやテーマ、職務内容、職業名などから多面的に職業を探し出す「職業探索システム」。

現在、企業向けの人材採用支援システムや人材開発・人材活用の支援システムを開発しており、また、個別具体的な求人・求職サイトとのリンクも検討を進めている。

図 キャリアマトリックスの機能と役割



### 3. キャリアマトリックスの7つの特徴

インターネットを通じて、どこでも居ながら職業情報を調べ、ガイダンスシステムを使える。

約500の職業について、50万人の各職業従事者、600箇所の機関・団体に対する広範な調査に基づき、統一的な形式で数値情報をふくむ**詳細かつ基盤的な情報**が提供されている。

職業名が不明であったり、断片的な情報であっても仕事のイメージや活動、その職務・特性など**多様な手がかりから職業を検索**できる。

**興味・関心等の自己診断テスト**を用意しており、診断結果から適切な職業を探ることができる。

**自分の職業経歴からスキルや知識を抽出**し、新しい可能性や適合度、補強すべき事項等をチェックできる。

求人情報や求職者情報(これまでの仕事内容、経験、スキル、強み、アピールポイント等)を的確に作成でき、**精度の高い効率的なマッチング**ができる。

**職業の世界を探索**し、自分のキャリアイメージとその達成への方向を展望できる。

#### 4．キャリアマトリックスの将来像

キャリアマトリックスは、**知的公共財としてインターネットで公開**され、公的機関及び民間の関連サイトとのリンクや連携を行い、その幅広い利用を通じて、内容を充実してゆくこととなる。今後は、広範な職業情報を網羅的に探索し、体系的に収集・整理するシステムを整備し、常にアップツーデートの「**最新・広範・正確で信頼でき使いやすい共通基盤としての職業情報**」を提供する。そして、一般国民、企業、学校、相談機関・公的機関及び民間の需給調整機関、キャリア・カウンセラーや相談員などに、**日常的に使われる情報インフラ**としてのシステムとなることを目指している。

#### 5．公開方法

公開時期        9月4日（月曜）午前10時

アクセス方法

キャリアマトリックスは次の三つのサイトから利用可能であり、利用の集中やメンテナンスによるサービス停止がないようにしている（ミラーサイト）。

<http://cmx.vrsys.net>

<http://cmx.hrsys.net>

<http://cmxn.vrsys.net>

[ 参考 ]    独立行政法人 労働政策研究・研修機構：厚生労働省所管の研究・研修機関であり、2002年設立。練馬区上石神井に研究所、埼玉県朝霞市に労働大学校がある。